中学校　外国語科（英語）　学習指導案

日　　時　平成 29 年 10 月 14 日（土）　第2限　10:35～11:25

場　　所　第 1 研修室

学年・組　中学校 1 年Ａ組 40 人（男子 19 人　女子 21 人）

単　　元　*Marcel and the Shakespeare Letters* (Stephen Rabley)
Pearson English Readers Level 1 （Pearson Education Ltd.）

指導者　山田　佳代子

目　　標

第二次

第三次

第四次

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
Pre-Reading 活動 1	・話の内容を予測する。 ・意見を述べ合う。 ・物語の背景知識を得る。	・想像力を膨らますよう促す。 ・背景知識を共有させる。
Pre-Reading 活動 2	・物語の導入部を聞き，必要な情報を理解する。	・細部にこだわらずキーワードをとらえるよう促す。
While-Reading 活動	・数枚に分かれたイラストと，それに対応する英文をマッチングさせ，話の展開を予測する。	・Pre-reading 活動で行った予測と比べるよう促す。 ・イラストの内容を最もよく表す英文を探す。 ・グループで協力して行う。 ・表現について積極的に辞書を使わせる。その際，本文にふさわしい意味を考えるよう促す。
Post-reading 活動	・テキスト全体をざっと読みながら，イラストと英文のマッチングの答えを確認し，話の概要をつかむ。	・詳細にはこだわらず，話の流れを想像するよう促す。

備考

Marcel and the Shakespeare Letters ワークシート１

どんな内容かな？

登場人物整理　no.1

Marcel

登場人物整理 no.2

場面整理　(Sheet no.　　)

著作権の関係上，イラストと文章は省略しています

Task 2

①ア～ケの文章のうち、全チーム共通の 4 枚の絵と、チームによって異なる 1 枚の絵の場面としてふさわしいものを選び、のりで借り止めしましょう。さらに**この部分がヒントになった、というところにペンで線を引きましょう**。

注：各チーム、Picture E～I のうちどれか 1 枚が入っています。

②物語の流れを予測して、絵と文章を並べてみましょう。

□に絵のアルファベット、○に文章の記号

実践上の留意点

1. 授業説明

〇Pre-reading 活動

聞き取った人物とそれに関する情報を付箋紙に書き込み，ワークシートに貼るよう指示する。情報の整理の仕方は特に指示せず，また今後読み進めてゆくにあたって，情報の追加、訂正ができるようにしている。物語を読む場合，初めにさりげなく提示された情報が大切な伏線になっていたり，あるいは重要な情報が後半部分まであえて提示されていないことがある。付箋紙を使った情報整理によって，そのよ

うな「物語文」の特徴を発見させ，理解させることが目的である。

未知の固有名詞も複数あるため，生徒にとってやや難しい活動であるが，班で協力して情報を整理しようとしていた。付箋紙で整理することの意味に気付いている生徒は少なく，枠を作って聞いた順番に

し，そのどの部分をどのように生徒に捕らえさせるべきなのか、という検討は物語教材に限らず必要であるが，たとえば物語であれば「読み聞かせ」という目的にふさわしく，音読指導につながる心情や場面を深く読み取る読みも可能である。指導助言者からもたとえばタイトルにある A and B の構造が物語によくある構造であり，この and のつながりを考えさせることもできるのではという助言をいただいた。生徒のより主体的で深い「読み」を促すために，すべての教材に共通する部分と物語教材に特化する部分をさらに検討し教材化することが課題である。